

誇れる私たちの活動

自治会の下部組織としての存在とは思えない組織力と活動内容でした。

取材者：関野浩之さん  
(徳倉第一町内会長)



これで、  
**自治会・町内会！**

活発に活動を行う自治会・町内会を紹介！

平成30年度自治会活動表彰  
会長賞受賞



\ NO.10 /



▲可搬ポンプを用いた防災訓練の様子

今後の目標は何ですか？  
「人々の触れ合い、助け合いボランティア精神」を念頭に置いて、自治会の計画を支援していきます。その参加は、まずは会員個人が健康で元気であること。そんな活動を通して、明るい街づくりに寄与していきます。

現在の問題は、会員の高齢化です。新規の会員募集（特に女性会員）に力を入れたいです。

活動内容・目的は何でしょう？  
平成23年に自治会下部組織のボランティア部隊として、孤立しがちなシルバー層が、自由に参加できる会として発足しました。  
現在18人のメンバーが、日常生活面から防災、生活安全、子ども達の見守りなどを中心として安心・安全をモットーに活動しています。

閭自治会連合会事務局（地域協働・安全課内） ☎ 983・2708

市民活動団体  
応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。

掲載申込みの詳細は、市ホームページをご覧ください。

☎ 広報情報課 ☎ 983・2620

年忘れ三島茶会のご案内

三島伝統文化研究会では歴史ある三島茶碗でお茶会を開催します。お茶会やイベントに参加して三島茶碗の普及に努めています。今回は陶芸家の福井善徳さんの作品でおもてなしします。📅12月12日(出)午前10時～午後2時📍生涯学習センター5階和室👤500円(実費)👤50人📍三島伝統文化研究会・平居☎090・6583・6662

女性を対象とした支援事業に  
応募してみませんか

「国際ソロプチミスト伊豆天城」は3賞を募集しています①女性のための教育・訓練賞②大学院女子学生奨学金120万円③大学・専門学校女子学生支援金※給付金額、対象等詳細はお問い合わせください。📍📅12月25日(金)までに、アワード委員長・梶谷純子☎987・6960

富士山一周ウォーキング会員募集

📅令和3年1月27日(水)午前7時三嶋大社鳥居集合📍富士山麓約200kmを月1回1年で名所、旧跡、湖畔、古道をウォーキング。往復はバスを使用。帰路温泉あり。📍バス代(実費程度)📍20人📍雨具、弁当、帽子、タオル📍📅令和3年1月20日(水)までに中村☎・FAX 975・0328

令和3年2月1日号への掲載の申込みは、12月18日(金)までに、広報情報課  
✉kouhou@city.mishima.shizuoka.jp、FAX 983・2719

# 歴史の小箱

No.391

地域の歴史  
いちのやましんでん  
市山新田

今回は箱根西麓に位置する五ヶ新田の一つ、市山新田についてご紹介します。

市山新田は箱根山の西坂、三ツ谷新田の西隣、塚原新田の東隣に位置しています。元和年間（二六一五～二四）に村として成立したといい、東海道を通行する旅人相手の商いが盛んでした。地名の由来について、江戸時代成立の地誌『豆州志稿』は、箱根路を登る際の最初（一）の野山という意、と記しています。

そして、成立年は不明ながら、谷田村組戸長役場（明治一七～二二年）の野紙を使って書かれた「伊豆国君沢郡市山新田景況」という文書が残っています。これによれば、文書作成当時の市山新田は二十九戸から構成され、男性八九名、女性八〇名が暮らしていたようです。

村の物産として特筆されているのは「胡蘿蔔」で、「質紅

色、鮮にして味最好し」と評され、年間生産量は一万二千貫目（四五トン）あり、県中・西部に出荷されています。当時は現在見られる短根種（三島人参）ではなく、長根種が作られていました。

さて、市山新田交差点の西側、東海道をやや北に入ったところに境妙山法善寺という日蓮宗のお寺があります。もともと現坂小学校の地に立地していましたが、明治三十六年に今の場所に移りました。元禄六年（二六九三）、妙顕寺（京都における日蓮教団最初の寺院）第二二世、玉沢妙法華寺第二二世を勤めた僧侶、境妙院日宗が営んだ堂舎「玄収庵」がもととなり、跡を継いだ日鉢の時に寺院として整備されたようです。

法善寺には、開創から二十年程を経た正徳二年（一七一二）、川原ヶ谷の鋳物師、沼上忠右衛門信祐によって鑄造された喚鐘（法会の開始等を報せる小型の鐘）があります。この鐘は、実は一度、溶かされてしまう危機に瀕したことがありました。太平洋戦争の最中のことです。

戦時中、政府は銅・鉄資源の

不足を補うため、一般家庭に日用品を、寺院には梵鐘などの仏具を供出させました。市内でも多くの寺の鐘が失われ、法善寺の喚鐘も同じく回収されてしまいました。しかし同寺の喚鐘は沼津駅で貨車の積み込みを待っている間に終戦を迎えたため、この危機を免れることができたそうです。

戦後、空襲被害にあった沼津市では、消防署の望楼を再建したものの肝心の鐘がなく、物資倉庫の片隅で眠っていたこの鐘を見つけ、消防用の半鐘として使うようになったといいます。火事が起きるとこの鐘を打つのですが、音色が違ってどうにもしっくりこなかったようです。近くに住んでいた消防署長の家族が、この鐘を消防用に使うべきではないと訴え、署員が改めて確認したところ、刻まれた銘文から法善寺の喚鐘であることが判明しました。昭和三十八年に無事お寺へ返され、現在も仏事の際に用いられています。



▲法善寺の喚鐘

わたしの

おじいちゃんおばあちゃん

当番 みずこし さやの さん

私のおじいちゃんとおばあちゃんは、元気でおでかけが大好きです。毎年秋になると山梨県にぶどう狩りに連れて行ってくれます。毎年おいしいぶどうが食べられます。今はコロナであまり遠出が出来ないけれど、また遠くまでおでかけがいつしよに出来るようになることを楽しみにしています。コロナが終息したら海外にも行きたいです。私は、こんなおじいちゃんとおばあちゃんのが大好きです。



水越真正(71才) 美幸(71才)

水越早弥乃(北小6年)